

令和元年8月28日  
関東運輸局

## 《公共交通シンポジウム2019》

## 「進む変革の波！地域の未来を担う公共交通

## ～激流を乗り越え、地域の活性化につなげるために～」

## を開催します

少子高齢化や人口減少等に対応し活力ある地域を維持するため、利用者に使いやすく効率の良い地域交通を、地域の関係者が共同して作り上げていく取組が各地でスタートしています。

こうした中、近年では MaaS や自動運転等、新技術を活用したモビリティ・サービスの開発が進展し、交通サービスに変革が押し寄せてきています。

本シンポジウムでは、この変革の波に乗って、地域公共交通が抱える諸課題を解決するための方策を探求していきます！

## 記

## 【開催概要】

1. 日時 令和元年10月8日（火）13:00～17:45（開場12:15）

2. 場所 江戸東京博物館 大ホール  
（東京都墨田区横網1-4-1）

3. 参加費 無料

4. 参加申込 募集300名

参加又は取材希望の方は、E-mailにてお申し込みを受け付けます。

- ・ 関東運輸局ホームページ（[http://www.tb.mlit.go.jp/kanto/koutuu\\_seisaku/seminar/index.html](http://www.tb.mlit.go.jp/kanto/koutuu_seisaku/seminar/index.html)）より「参加申込書」をダウンロードし、各事項をご入力の上、ファイルを下記アドレスに送信

送信先：[ktt-ky-kikaku@ml.mlit.go.jp](mailto:ktt-ky-kikaku@ml.mlit.go.jp)

※定員に達し次第、締め切りとさせていただきます。



5. 主催 関東運輸局

## 【問い合わせ先】

関東運輸局交通政策部 交通企画課 服部、戸澤

tel:045-211-7209 fax:045-201-8807

## 【同時配布先】

茨城県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、群馬県政記者クラブ、千葉県政記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、山梨県政記者クラブ、都庁記者クラブ、横浜海事記者クラブ、関東運輸局記者会[ハイタク等専門紙]

# 進む変革の波！

# 地域の未来を担う公共交通

～激流を乗り越え、地域の活性化につなげるために～

少子高齢化や人口減少等に対応し活力ある地域を維持するため、利用者に使いやすく効率の良い地域交通を、地域の関係者が共同して作り上げていく取組が各地でスタートしています。

こうした中、近年ではMaaSや自動運転等、新技術を活用したモビリティ・サービスの開発が進展し、交通サービスに変革が押し寄せてきています。

本シンポジウムでは、この変革の波に乗って、地域公共交通が抱える諸課題を解決するための方策を探求していきます！

開催趣旨

## 基調講演

13:15～

1. **MaaS (マース) と交通まちづくり**  
(一財) 計量計画研究所 理事 牧村和彦 氏
2. **ICT高度化時代の公共交通**  
～行政・交通事業者に求められるリテラシー～  
福島大学 准教授 吉田樹 氏

## 事例発表

15:25～

1. 東京急行電鉄(株)
2. (株)トラフィックブレイン
3. 会津若松市
4. (株)電腦交通

## 座談会

17:05～

基調講演講師と事例発表者が再登場！  
気になる話題について熱く語って頂きます！



日産自動車(株) 提供

# 2019 10 / 8 (火)

13:00 ~ 17:45 (12:15 開場)

## 江戸東京博物館 大ホール

募集 300名 \*定員になり次第、締め切りとさせていただきます。  
参加無料

要事前  
申込み

## 参加申込方法

### 【お申込み・お問い合わせ先】

参加ご希望の方は、参加申込書をE-mailで次のアドレスへお送りください。  
ktt-ky-kikaku@ml.mlit.go.jp

### 【参加申込書について】

参加申込書は関東運輸局ホームページで配布しております。  
[http://www.tb.mlit.go.jp/kanto/koutuu\\_seisaku/seminar/index.html](http://www.tb.mlit.go.jp/kanto/koutuu_seisaku/seminar/index.html)



### 協力

関東地方整備局、関東経済産業局、(株)時事通信社、(株)茨城新聞社、(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構、(独)都市再生機構、(一財)運輸総合研究所、(一財)国土技術研究センター、(一社)鉄道建築協会、関東商工会議所連合会、(公社)日本観光振興協会、(公財)交通エコロジー・モビリティ財団、関東鉄道協会、(一社)茨城県バス協会、(一社)栃木県バス協会、(一社)群馬県バス協会、(一社)埼玉県バス協会、(一社)千葉県バス協会、(一社)東京バス協会、(一社)神奈川県バス協会、(一社)山梨県バス協会

## 講師のプロフィール



一般財団法人 計量計画研究所 理事 兼 研究本部企画戦略部長  
まきむら かずひこ  
**牧村 和彦 氏**

1990年一般財団法人計量計画研究所（IBS）入所。東京大学 博士（工学）。  
神戸大学客員教授、南山大学非常勤講師。

都市・交通のシンクタンクに従事、将来のモビリティビジョンを描くモビリティデザイナー。  
内閣官房未来投資会議、官民連携協議会などに参加。経産省スマートモビリティ推進協議会企画運営委員他。  
代表的な著書に、「MaaS～モビリティ革命の先にある全産業のゲームチェンジ（日経BP）」、  
「バスがまちを変えていく～BRTの導入計画作法（IBS出版）」、「交通まちづくり～地方都市からの挑戦  
（共著、鹿島出版）」等多数。



福島大学 経済経営学類 准教授  
よしだ いつき  
**吉田 樹 氏**

千葉県生まれ。東京都立大学大学院都市科学研究科博士課程修了。博士（都市科学）。  
専門は、地域交通政策、地域観光政策。

国土交通省「都市と地方の新たなモビリティサービス懇談会」の委員として参画し、地域課題の解決に  
資する「日本版 MaaS」のあり方を現場起点で考える。武蔵野市、小田原市、飯能市、足利市、栃木県  
那須地域、五霞町などの公共交通政策に携わり、行政、交通事業者、地域といったプレイヤーの橋渡し  
役を担う。

## タイムテーブル

### 13:00 開会

主催者挨拶・取組報告

### 13:15 基調講演

1. MaaS（マース）と交通まちづくり  
（一財）計量計画研究所 理事 牧村和彦 氏
2. ICT高度化時代の公共交通  
～行政・交通事業者に求められるリテラシー～  
福島大学 准教授 吉田樹 氏

### 15:25 事例発表

1. 伊豆における観光型 MaaS 実証実験について  
東京急行電鉄(株) 長束 晃一（ながつか こういち）氏
2. 全国に広がる標準的バス情報フォーマット（GTFS-JP）と  
首都圏公共交通オープンデータ事情  
（株）トラフィックブレイン 太田 恒平（おた こうへい）氏
3. データを活用した地域住民との連携・協働による  
地域内交通の構築  
会津若松市 柏木 康豪（かしわざい やすひで）氏
4. クラウド型タクシー配車システムの活用と地域交通の課題解決  
（株）電脳交通 北島 昇（きたじま のぼる）氏

### 17:05 座談会

会場にお越しの皆様から、アンケート  
フォームを利用してご質問を受け、  
講師の皆様に対談して頂きます！

当日、こちらの  
フォームからご  
質問をお送りく  
ださい。



### 17:45 閉会



東京急行電鉄(株)  
長束 晃一 氏



(株)トラフィックブレイン  
太田 恒平 氏

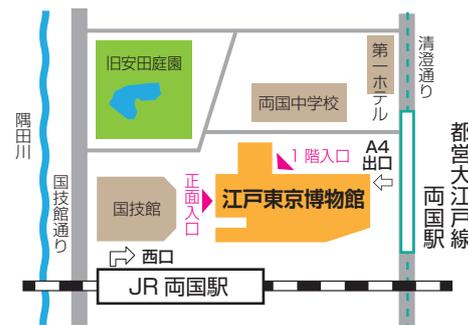


会津若松市  
柏木 康豪 氏



(株)電脳交通  
北島 昇 氏

## 会場案内



江戸東京博物館

〒130-0015 東京都墨田区横綱 1-4-1

※駐車場のご用意はありません。

JR 両国駅ご利用の場合は西口からお越しください。